

00万円の予算

3月定例会は、5日から20日まで開かれ、平成19年度当初予算、平成18年度各会計補正予算、神石高原町支所設置条例の一部を改正する条例など82議案と、議員提出の議員報酬の特例に関する条例の制定など2件、および意見書2件など88案件をそれぞれ原案のとおり可決しました。



牧野町長

平成19年度 予算編成方針

要言

すでに「公債費負担適正化計画」で示したとおり「実質公債費比率」が19・8%となっており、本町の財政事情は極めて危機的状況です。合併4年度目となり合併関連歳入が見込めない予算編成となりましたが少しでも町の将来へ展望を持てるよう、前向きに取り組ましました。

① 快適で魅力に満ちたまちづくり

自治振興会への補助、ふれあい事業を継続します。また「新町重点公共施設新設整備事業

基金」を積立しています。

上下水道施設・衛生施設の充実を図り、防火水槽設置、衛星通信網整備・小規模崩壊地復旧事業等の防災対策に取り組めます。

② 保健・医療・福祉の充実したまちづくり

「町障害者計画」「健康増進計画」の策定、子どものインフルエンザ予防接種対策、「神石高原こたわり牛乳」の学校給食補助、後期高齢者対策、神石三和病院対策、井岡地区総合開発事業、全保育所の

第2土曜日開所などさらなる地域福祉・保健・医療制度の充実を図ります。

③ 教育・文化のまちづくり

スクールバスの更新、小中一貫教育の推進、4公民館体制、放課後子ども教室事業など取り組めます。

④ 活力ある産業と交流のまちづくり

生産体制及び農産物加工・流通体制の一体的な充実、4土地改良区の合併、3つの産直市場の早期統合、観光施

設運営の効率化、商工会活動の支援など行います。

⑤ 交通・情報通信基盤の整備

周回道路整備負担金の計上、町道整備、「予約乗合タクシー」の本格実施、油木無線・三和有線の修理など実施します。

「信頼と合意」を政治理念に加え、引き続き「迅速・確実・誠実」のJKKSを合言葉に、町政の前進を図る取り組みを、住民・職員の先頭に立って邁進します。

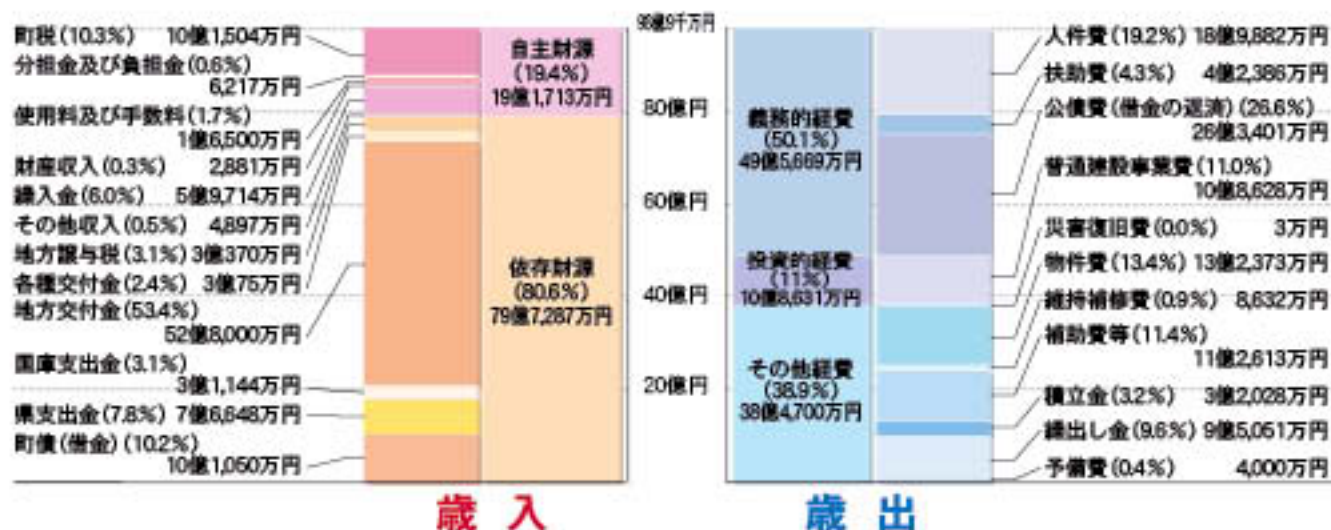


答弁する副町長

98億9,0

(前年対比3.9%減)

平成19年度一般会計当初予算



平成19年度特別会計当初予算

会計名		予算額
特別会計	国民健康保険特別会計	13億6,590万円
	内訳	
	事業勘定	13億6,000万円
	診療施設勘定	590万円
	老人保健特別会計	23億9,900万円
	介護保険特別会計	16億4,750万円
	内訳	
	保険事業勘定	16億1,400万円
	介護サービス事業勘定	3,350万円
	簡易水道事業特別会計	5億1,230万円
特別会計	飲料水供給施設事業特別会計	3,480万円
	農業集落排水事業特別会計	2億4,580万円
	分収育林事業特別会計	10万円
	計	62億540万円

賛成 16

1 反対

平成19年度当初予算案は、

可決しました。

小林 貴議員・松本彰夫議員

国の三位一体改革により、本町の財政確保が極めて困難な中、新町の基本理念に基き、6つの目標に沿って、住民に対して開かれた予算の中で最大のサービスの確保されている。公債費適正計画をもとにした財政再建・健全化に努められ、長期総合計画に沿って、夢のある、人と自然が輝くまちづくりに向けての構想も具体化されている。執行者・職員一体となり、適切な予算執行に邁進されることを切望し賛成する。

豊田耕三議員

財政が危機的な状況にある中、この事業が成功する保証はない。失敗しても、行政が責任をとるものではない。住民が被害をうけ、住民が負担を負うことになる。予算は堅実なもので、日頃、いかに住民の福祉向上を叫び、町づくりの理想や夢を語っても、実現はむずかしい。これ以上の公債比率が高くなる、と非常事態になると思ひ反対する。